

不法投棄撲滅 クリーンキャンペーン

昨年、環境問題活動をお休みし、今期は東京都と川崎市の間を流れる多摩川上流にある、川崎市水道局稲田取水施設付近の清掃を予定していましたが、もう少し規模を大きくしたいと考え、建設業に関わる異業種青年部（建設、電気、管工事、造園）と行政（川崎市）サイドに声を掛け、川崎市としてゴミ



参加者による集合写真
（川崎建設センターにて）



の不法投棄で問題となっている箇所を大々的に清掃することとなり、結果、水源地での清掃とは少し異なった、川崎港に近い工業地帯の一角での清掃活動に変わりました。

清掃場所に近い、建設局の施設（川

清掃活動

崎建設センター）に集合し、川崎区長もこの活動に賛同して頂き、朝の挨拶でエールを貰い、その後、川崎市側から要望を受けた場所に移動し、清掃活動を実施致しました。

集めたゴミは翌、月曜日に環境局のゴミ清掃車が回収してもらおう打合せとなっており、集めたゴミは袋にして実



清掃活動

川崎市管工事業協同組合青年部会

担当役員 広報部長 川又健太郎

実施日 平成18年11月18日(土)

参加者 総勢 42名

(川崎区長1名、川崎市職員5名、会員10名、他団体青年部会員26名)

に70袋以上・・何より一番大変だったのは、ゴミの分別作業でした(苦笑)！
この清掃活動は地元のタウン誌でも報じられ、その翌月には参加者の代表が川崎市市長を訪問し、「不法投棄撲滅宣誓書」を提出し、不法投棄を撲滅することを宣言しました。



記事内容

今年度の活動は場所柄、子供たちの参加は危険を伴う恐れがあり、大人だけの活動となりました。来年度はどんな活動になるかは未定ですが、建設業界として、これからも不法投棄を撲滅する活動を様々な形で行って行きたいと考えます。



川崎市市長と参加団体代表者による記念写真



宣誓書を市長に渡す小島会長(川崎市市長室にて)